



庭

先のツバキの茂みにスズメバチが巣を作りました。最初はロート状で小さかったのですが、最近では大人の頭大になってきています。いよいよ夏本番で働き蜂が増えてくるので、これから9月頃にかけて、まだまだ巣は大きくなっていくと思われます。一方、母屋の裏では、今年になって設置したミツバチ巣箱にニホンミツバチが入り、今も活発に出入りしています。これらのハチたちが今、各地で減少してきているのを知っていますか？



人家の近くでは、ハチは「刺される」「危険だ」として駆除されているのを良く見かけますが、このハチ、実は遙か昔から私たち人間の暮らしを支えてきた益虫なんです。農家が育てる野菜に付く害虫を食べたり、果物の花の受粉を媒介したりしてくれるため、農薬がなかった時代には広く重宝されていました。作物栽培に農薬を使わない我が家では、ハチたちは今でも大切な助っ人です。

ハチが減ってきた理由としては、温暖化や農薬など様々な原因があるようです。しかし将来、自然界からハチたちがいなくなったら生態系は大きなダメージを受け、私たちの食生活も計り知れない影響を受けます。ですから今こそヒトと昆虫の関わりをもう一度見つめ直し、昆虫との共存を目指して社会全体で舵を切るときではないかと、せわしく飛び回るハチたちを眺めながら考えていました。



(小沢)

事務局より

●代表の若生和江氏が、地域環境保全功労者表彰（環境大臣表彰）に輝きました。

若生さん、おめでとうございます！ 受賞した若生さんからひと言頂きました↓

「めぐみネットの皆さんに支えていただいたおかげです。他の誰よりめぐみネットから祝ってもらえたことが一番嬉しい！」

●令和6年度後期のイベントカレンダーが完成しました！

後期も楽しそうなイベントが目白押しです。ぜひご参加ください！



運営会議より

前半(4～8月)のイベントも、いよいよ残り一つとなりました。ここで前期に実施した市民・会員環境講座(イベント)の様子について報告します。

●イベント報告

・4月20日(土):「森のめぐみを楽しもう！ー育てみよう原木シイタケー」

参加者が55名と、かつてないほどの大人数となった本イベントは、午前と午後の2回に分けて、水沢黒石町にある小黒石林業の作業場にて行われました。はじめに奥州地方森林組合の佐藤美加子講師から森の機能や森に関わる施策等についての講話を聴き、その後ドリルと木槌を用いてシイタケ植菌作業を行いました。原木シイタケが収穫できるまでには1年ほどかかり、約3年間にわたって収穫できるとのことで、参加者は植菌したほだ木を持ち帰りました。1年後の肉厚なシイタケの収穫が楽しみです。



「森のめぐみを楽しもう！」

・5月26日(日):「春の大鉢森山登山」

6年ぶりの開催となった大鉢森山登山は天候に恵まれ、快晴のなか行われました。講師は吉田智子さん。参加者は22名で、吉田講師から春の草花や樹木の話を楽しみながら、山頂まで約2kmの道を歩きました。例年と違って春開催となった今回の大鉢森山登山、たくさんの花が私たちを迎えてくれました。(つづく)

急な山道を登り切って辿り着いた山頂からの眺めも格別！奥羽山脈、胆沢扇状地、北上川を一望しながら昼食休憩し、吉田講師から、大鉢森山の地層や奥州市の地形に関する話を聞いて、下山となりました。



「春の大鉢森山登山」

・ 6月23日(日)：「今こそ知りたい！ザリガニってワルモノなの？」

外来種との関わり方について考えるザリガニイベントは、梅雨入り直前の日曜に、水沢吉小路にある斎藤實記念館の協力の下、記念館の庭園の池で行われました。講師はめぐみネット副代表の小沢さん。最初に思い思いのエサでザリガニを釣り、その後釣ったザリガニを観察



「ザリガニってワルモノなの？」

しながらザリガニクイズやザリガニ絵描きにチャレンジしました。予想以上にたくさんのザリガニが住みついていたようで、次から次に釣れるザリガニに、大人も子どもも歓声を上げていました。

・ 7月20日(土)：「夜の森で昆虫観察！ーライトトラップ&バナナトラップー」

毎年恒例となった夜の昆虫観察イベント。今年も衣川ふるさと自然塾で開催されました。講師は岩手県環境アドバイザーで自然観察指導員の川田昌代さん。森に入る前に学習館で川田さんお手製のクイズを使用して昆虫の生態や大切さ、生態系での役割等について楽しく学んだあと、森に入りました。事前に仕掛けていたバイトトラップ、バナナトラップ、そしてライトトラップにか



「夜の森で昆虫観察！」

かった虫をそれぞれ採取し、学習館に戻ってじっくり観察。小雨模様の天気でしたが、セミの羽化が見れたり、カミキリムシやクワガタ、オオミズアオ等たくさんの生きものに会えて子どもたちも大満足の夜でした。

定期イベントのほかにも、「地域・学校・団体での環境学習サポート」の一つとして高校生と共にSDGsについて学びました。その様子についても報告します。

・ 5月15日(水)：「協和学院 水沢第一高等学校におけるSDGs学習サポート」

1学年142名を対象に、めぐみネットの若生さんと花澤さんが、SDGsについて講話を行い、その後にSDGsアクションカードゲーム“クロス”の体験学習を実施しました。

・ 6月28日(金)：「県立水沢工業高等学校におけるSDGs学習サポート」

機械科8名を対象に、めぐみネットの若生さんが、SDGsについて体験学習指導を行いました。



「水沢第一高等学校」



「水沢工業高等学校」

事務局：

奥州市役所 市民環境部 生活環境課
「奥州めぐみネット事務局」

奥州市水沢大手町一丁目1番地

☎ 0197-34-2340

ファックス 0197-51-2374

✉ seikatsu@city.oshu.iwate.jp